

5か年加速化対策による愛知県道路事業の成果

加速化対策による名古屋岡崎線(中田工区)の整備は、災害時の物資・人材受け入れの起点となる新東名高速道路豊田南ICへのアクセス向上による緊急輸送道路網の機能強化を促進し、地域防災力の向上に貢献するとともに、災害時の産業活動の早期復旧を物流面から支援。

(1) [対策名] 51
高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

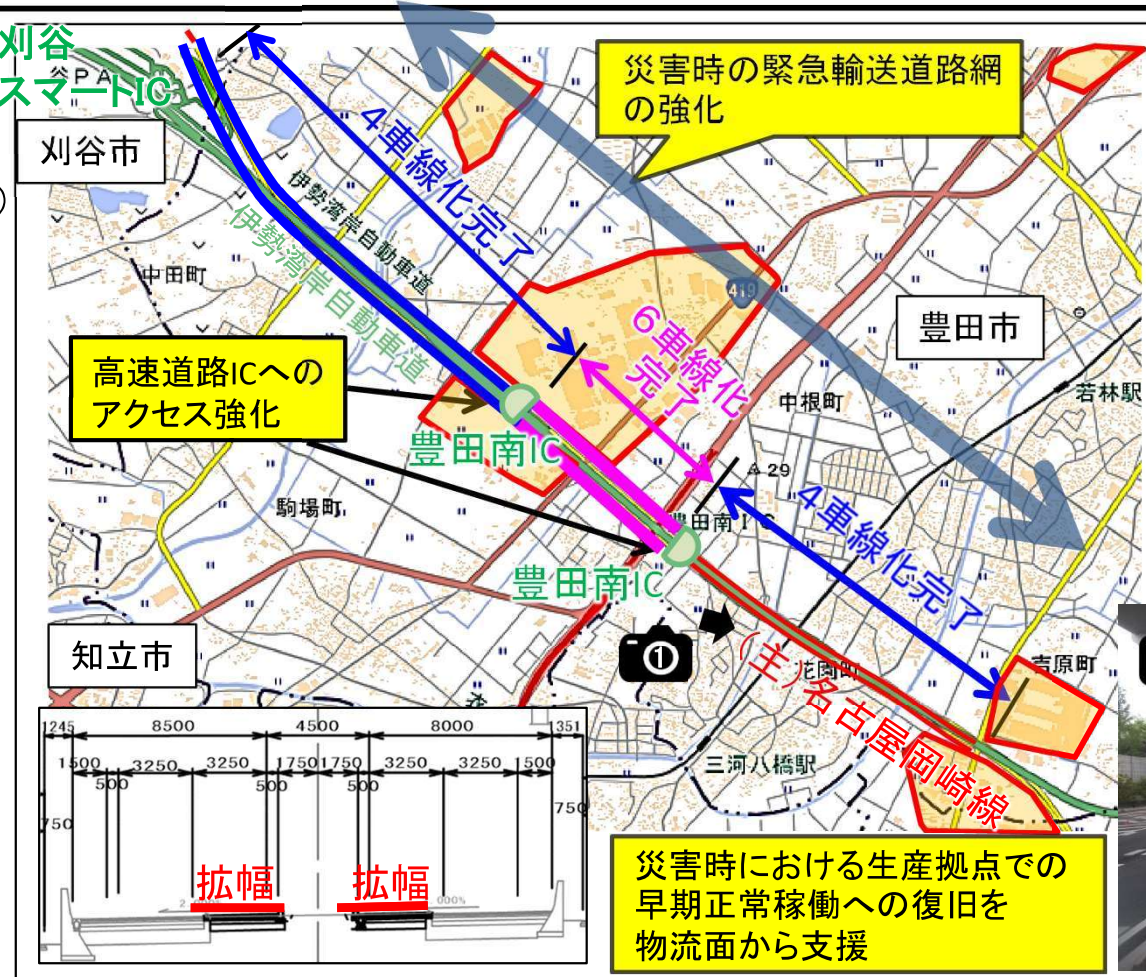
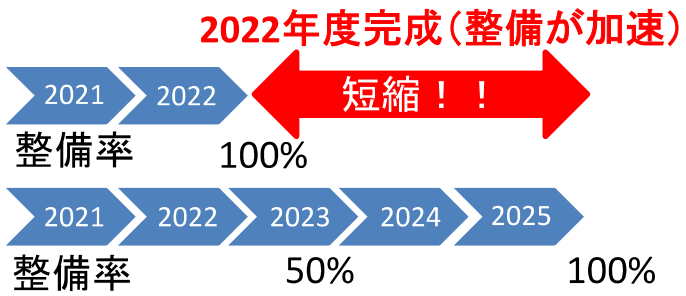
◆事業名 防災・安全交付金事業(道路事業)
なごやおかざき
◆路線名 主要地方道名古屋岡崎線(中田工区)
(豊田市中田町～豊田市吉原町)

(2) 事業概要

- ◆目的: 4車線の現道拡幅整備により、渋滞の緩和を図るもの
- ◆総事業費: 9.7億円
(5か年加速化対策事業費: 2.88億円)
- ◆事業期間: 2019年～2022年
- ◆整備内容: 現道拡幅工事 L=4.4km

(3) 事業スケジュール及び効果

- ◆5か年加速化対策活用
- ◆当初計画



凡例
自動車関連工場及び物流拠点



【効果】

- 豊田市南部地域における緊急輸送道路網の強化!
- 新東名高速道路豊田南IC及び刈谷スマートICへのアクセス性向上!
- 災害発生時における生産活動の早期正常稼働への復旧に貢献!